



ひとり
デイズニー
50の楽しみ方

*50 Ways to Enjoy a Solo
Disney Trip.*

みっこ

自由気ままに

大好きな場所へ

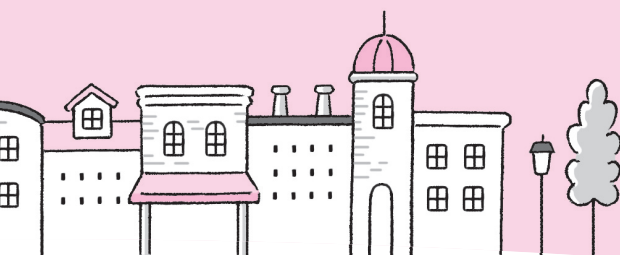
東京ディズニーリゾートで過ごした日は

「あのアトラクションにも乗らなかったな」

「あのショーも観たかったな」……

そんなことを思いながら、

帰路につくのではないでしようか？



楽しかった思い出と、次回への期待感。

翌日には、「また行きたいな〜」

と心踊らせているかもしれません。

もしも、パークでやりたかったことが、

すべてできるなら。

誰にも気を使うことなく、自分が見たいもの、

やりたいことを1から10まで体験することができる。

それが「ひとりデイズニー」の魅力です。



家族や友達、恋人と行くディズニーはもちろん楽しくて、
かけがえのない思い出。

でも、ひとりだからこそ気がつく、
新しいパークの一面がきつとあります。

ひよっとしたら、

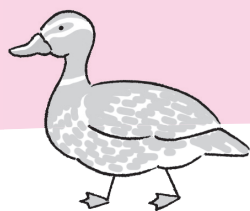
新しい”好き“が見つかるかもしれません。

気の向くままに、好きなことを、好きなだけ……。

今までとは一味違う楽しさを、ぜひ体験してみてください。



さあ、自分だけの
東京デイズニールゾートの楽しみ方を
探しにいきましょう。



はじめに

「夢」と「魔法」、そして「冒険」や「イメージネーション」の世界で、私たちに非日常的な時間を与えてくれる東京デイズニールゾート。

16年前、私はそんなデイズニールゾートの魅力に取りつかれてしまいました。

最初は家族と、仲間と、恋人と一緒に行っていました。もちろん今でもそうした大切な人と一緒に行くこともあります。そして大切な人たちと行くと、「絆」や「信頼」「一緒に過ごす大切な思い出」がさらに深くなっていくという素敵な時間にも巡り合えました。

ただ、それはデイズニールゾート「で」体験する時間であって、デイズニールゾート「を」じっくり楽しむのとはちょっと違った時間です。

思い起こせば、私がデイズニールゾートの魅力にハマった最初のきっかけは、キャラクターやショー、アトラクションなどではなく、なんとトラッシュユカン（ゴミ箱）。家族と行った何げない瞬間に見つけましたが、場所によって、デザインやカラーが

すべて異なり、「ここまでこだわっているんだ……！」という感動からでした。

それからは小さなこだわりを探したり、調べたりすることがとても楽しくなりました。大切な人と行く楽しさとはまったく違う、「自分ひとりでじっくり楽しむパーク」が好きになり、雑学や裏話を綴ったブログも始めました。

そしてひとりでもパークに通うようになって約16年、いろいろ知ってくると、ひとりですっきり楽しむ時間とともに、大切な人と行くときの楽しみもさらに広がり、「いろいろな形で楽しめるデイズニールゾートの魅力」を知ることができたのです。

これまで仲間や大切な人とデイズニールゾートに行ったことはあっても、なかなかおひとりさまの経験はない方が多いと思います。しかし、思い切って一歩踏み出してみると、そこにはまったく別のパークの魅力が広がっているのです。

デイズニールゾートは数あるエンターテイメントやレジャーのなかでも、恋人や家族、仲間と行くイメージが強く、「ひとりで行くこと」の発想があまりない場所ではないでしょうか。よくあるアンケートなどでは、おひとりさまでチャレンジすることの難易度がかなり高いとされています。

実際、ひとりカラオケやひとり焼き肉などが流行るなか、どうしてもデイズニリーゾートにひとりで行くということは世間一般的に見て、ハードルが高いように思えます。

しかし、そこに「大きな誤解」があります。

実は本当にデイズニリーゾート「を」心から楽しめるのは「ひとりデイズニー」なのです。

「ひとりでデイズニー」これだけ聞くと、「まわりから好奇の目で見られそう」「さすがにひとりはハードルが高い……」など、直感的にそう感じる方が多いと思います。しかし、他人の意見を気にせず、すべて自由に好きなことを好きなだけ好きなタイミングで楽しめるといえるのは、デイズニリーゾートを本当に深く楽しむうえでは、「いちばん効率的で効果的な方法」なのです。

本書では、ひとりデイズニーならではの魅力や、ひとりだからこそじっくり楽しめるパークの過ごし方、トリビアや隠れたパークの物語などをこれまでの経験を交えてじっくりご紹介しています。

今までデイズニリーゾートについて本を執筆してきましたが、ひとりデイズニーが

もっと当たり前になり、より多くの方にもっと深くディズニーリゾートの世界が広まればと思い、今回初めて「ひとりディズニー」に焦点を当てて、筆を取らせていただきました。

この本を読んでいただいたあと、これまでとはディズニーリゾートの楽しみ方が大きく変わり、より深く、より楽しく、そしてその世界をさらに堪能していただくことができれば幸いです。

……「夢」と「魔法」、そして「冒険」や「イマジネーション」の世界を「ひとりじめ」する感動と感激をぜひ味わってみてください。

※本書は筆者の独自調査、及び現地を確認・検証したものその他、個人的考察も含まれます。
(株)オリエンタルランド並びに東京ディズニーリゾートの公式見解ではありませんので
予めご了承ください。

※本書の内容は、2021年5月1日現在までの情報で構成されています。

*50 Ways to Enjoy a Solo
Disney Trip.*

CONTENTS

目次

ひとりディズニーがおすすすめな理由

はじめに

- 1 ひとりディズニーがおすすすめな理由 22
- 2 自分を完全に解き放てるひとりディズニー 24
- 3 おひとりさまは珍しいことではない 26
- 4 いったいいい？ 「デビュー日」を決めるドキドキ感 30
- 5 思いもよらぬ情報も？ 最新情報はキャストを頼る 38
- 6 おひとりさま同士ならではの出会い 40
- 7 パークの「外」での意外なメリット 44
- 8 「心の余裕」が増えるおひとりさま 46
- 9 ジャンルさまざまな「Dヲタ」たちを観察しよう 49
- 10 「推し」がいると、パークがもっと楽しくなる！ 54
- 11 パークで「海外旅行」はいかが？ 56
- 12 ゲストの流れの裏をかいて動ける快感 60

CONTENTS

CHAPTER

2

自分史上最高の1日を

- | | | |
|----|---------------------------|-----|
| 15 | リアルタイムな情報収集で効率的に | 70 |
| 14 | ひとり分のスペースがあればどこでも休憩所 | 66 |
| 13 | 「なんにもしない」という贅沢ができる | 62 |
| 16 | パークに散らばった「錯覚の魔法」 | 74 |
| 17 | 意外に知られていない、ちょっと変わった撮影スポット | 78 |
| 18 | 運河をより美しく撮ってみよう | 84 |
| 19 | 同じ場所でも季節と時間で変化する表情 | 88 |
| 20 | 難易度MAXな数々の隠し要素 | 92 |
| 21 | キャラクターひとりじめ、という天国時間 | 98 |
| 22 | キャラが登場する「合図」を知ろう | 104 |
| 23 | ひとりならショーやパレードも特等席で | 106 |
| 24 | 「Dヲタの動き」に注目すると見えてくるもの | 109 |
| 25 | 静かに隠れたキャラクター | 112 |

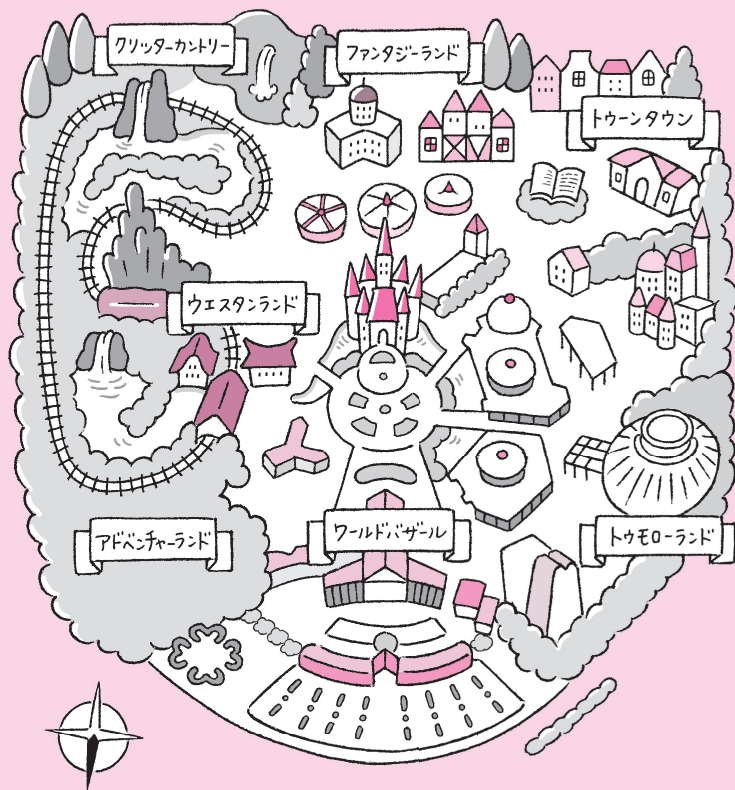
よりディープな1日を

- 26 ひとり向きのアトラクションと向かないアトラクション……………118
- 27 アトラクションは「待ち時間」のほうがおもしろい……………126
- 28 出口に書かれたメッセージまでがアトラクション……………131
- 29 スポンサーが物語を深めてくれるアトラクション……………134
- 30 意外な事実!? キャストは何が起こるか「知らない」……………138
- 31 最近のパークは「おひとりごはん」にやさしいのです……………142
- 32 自分へのご褒美に、ドレスいらすの豪華ごはん……………146
- 33 レストランには楽しすぎる謎がいっぱい……………150
- 34 その世界の住人になって楽しむレストラン……………156
- 35 混雑したら思い切ってイクスピアリへ……………162
- 36 パークの多彩な音に耳を傾けてみる……………166
- 37 ゆっくり歩かないと見逃す「魅せ方」の魔法……………169
- 38 リアルな街並みをつくるこだわり……………172

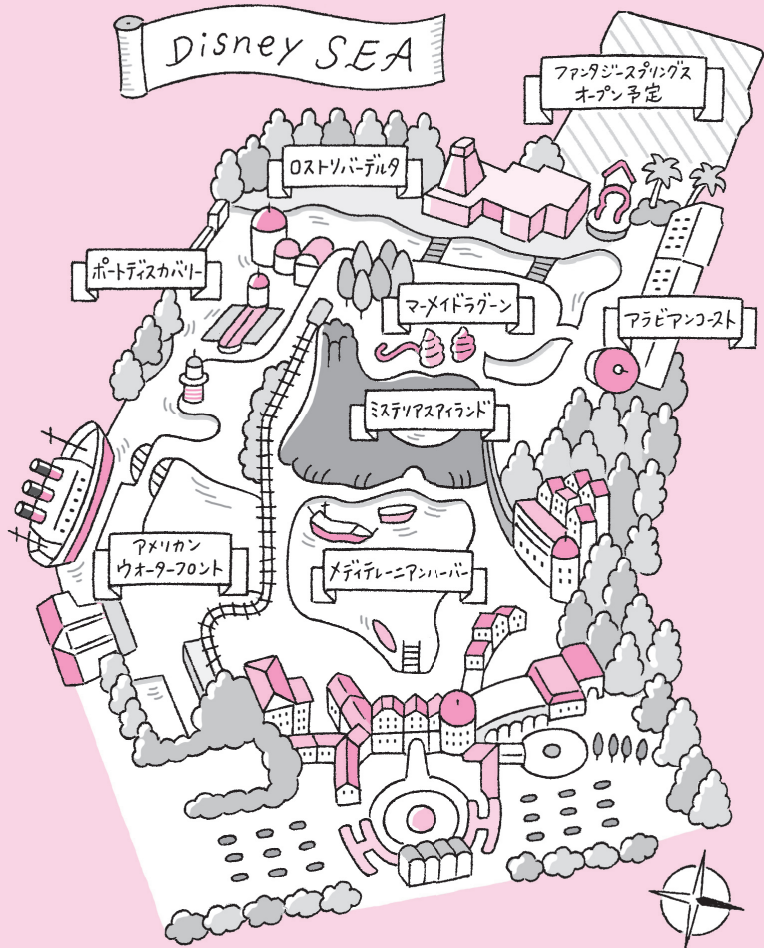
CONTENTS

39	世界観を守る「原寸大」の工夫	174
40	シヨップに隠されたときめきの物語	176
41	「調べなければ絶対にわからないこだわり」を探してみよう	180
42	パークの数字に隠れたロマン	184
43	メモリアルデーを大切にするディズニーの精神を探してみる	190
44	映画とパークの感激が倍増するトリビア	194
45	実はお得なおひとりさま泊まりディズニー	200
46	ノーチケットで楽しむディズニーリゾート外周散歩	204
47	意外？パークの外で見られる隠れキャラ	208
48	体験したらラッキーな激レアケースとは？	211
49	「その時間だけ」しか見られないもの	216
50	永遠に完成しないディズニーリゾート	220
	おわりに	224
	著者プロフィール	228
	参考・引用文献	229

Disney LAND



Disney SEA



*50 Ways to Enjoy a Solo
Disney Trip.*

CHAPTER 1

ひとりディズニーが おすすめな 理由





point
1

ひとりデイズニーがおすすすめな理由

「ひとりデイズニー」がおすすすめな理由。それは一言でいうならば、「何もかもがすべて自分の思い通り」であること。まわりを気にせず、自分の好きなように行動することができるからです。もちろん、予定の急な変更・追加をしても、誰にもいっさい迷惑はかかりません。

「ひとりデイズニー」の最大のメリットがこれ。

いつも家族や友達、恋人と行っていた

D

memo

ひとりディズニーの強みは「フットワークの軽さ」。ショーやパレード、アトラクションを終えたあと、すぐに効率的に動けば、ファストパスやスタンバイパスの集中による混雑が避けられます。

ディズニーリゾートですが、ちょっと物足りなかつたり、思うように動けなかつたり、やりたいことができなかった経験がある方も多いはず。

その簡単な解決方法が、シンプルに「ひとりで行くこと」なのです。

他の人にいつさい気を使わなくていいというのは、ものすごくシンプルですが、最大のメリット。行きたいところ、見たいもの、食べたいもの、食事や休憩時間、行く時刻や帰る時刻……。そうです。それらが**すべてあなたの思い通りに、自由に決められるのです。**

もちろんみんなで行っても楽しいディズニーリゾート。しかし、100%自分の考え方でパークを隅から隅まで好きなだけ楽しむことができるといわれると、挑戦してみたくありませんか？

ただし、ここで気をつけてほしいことがあります。このひとりディズニー、**一度やつてしまうと、もうもとに戻れなくなるかもしれませんのでご注意ください……。**